



旬の風 185号 (2017年9月)

忘れられない星空がある。

今から25年程前、当時学生だった私は、所属していたサークルの仲間たちと群馬県片品村に来ていた。片品村は、群馬県の北北東に位置する山間の村で、東京から車で約3時間半のところ。

その日は仲間たちと花火をする為、まだ陽の落ちないうちに広場へと行った。

初めは花火に夢中だったが…辺りも暗くなり、上を見ると満天の星空。でも、ただの星空ではなかった。彼方此方に流れ星。初めて見る流れ星と宝石のようなきれいな星空の大迫力に圧倒された。後からわかったのだが、その年は夏のペルセウス座流星群が平年の2倍以上という大出現の年だったようだ。

今年のペルセウス座流星群は8月13日頃。ちょうど田舎に帰省するので、星が見えるかな？と期待していたのだが、残念ながら雨。

いつかまたあの時のような星空が見えるといいな…と

自宅から少し明るくて雲が白く見える夜空をちょっと残念だなあと思いながら… (チヨコ)

メニュー担当者からの一言

8月の天候不順の影響でこのお便りが届く9月は野菜の価格高騰が予想されます。

旬のお弁当で、最近魚の切身が小さくなったと

お気づきの方もいらっしゃるでしょう。

不漁と世界中の人々が魚を食べはじめたせいか

魚の値段が高騰しています。

魚と肉2種のメイン料理が売りの旬のお弁当は

値段を上げる訳にもいかず、以前より小さめの魚料理となっています。

特に、鮭はお刺身でも食べられる品質の物を使用していましたが、

以前に比べると約2倍の価格となり、

今月はお楽しみの日のみのお出番となってしまいました。

お楽しみに。